

<b>(株)東芝 京浜事業所 サイトレポート情報</b>	
所在地	神奈川県横浜市鶴見区末広町2丁目4番地
敷地面積	594,634m <sup>2</sup> 、建家面積：369,156m <sup>2</sup> 、緑化率6.8%
設立	1925年8月、従業員：2,476人(2010年3月現在)
主要製品	蒸気タービン・発電機器、水車機器、原子力機器、新エネルギー機器
ISO14001認証取得	1997年8月、[電力社]として取得：2007年1月 最新更新年月：2010年1月 (ISO認証番号：EC99J2055)



**ごあいさつ**

京浜事業所は、エネルギー機器事業の中核工場として電力の安定供給と環境調和を目指し、新たな時代を切り開き、お客様の信頼に応える環境調和型製品の提供に努めております。また、東京湾に面して立地しているため周辺環境の保全に努め、持続可能な社会へ貢献します。3月の東日本大震災に端を発する電力供給量低下に対応したピーク電力削減はもちろんのこと、業務の改善や設備投資などによる省エネにも従業員の一人一人が自覚し、積極的に取り組んでまいります。



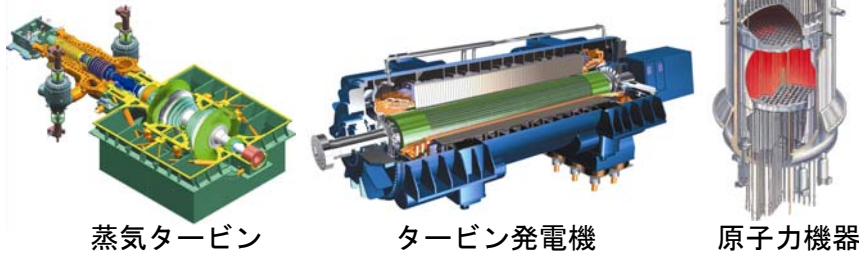
環境保全責任者 原田 稔之

**2010年度の環境の主な取り組み**

- ◆ ISO14001環境マネジメントシステム  
京浜事業所単独で1997年8月に認証取得、2006年8月に3回目の更新。2007年1月に電力システム社として認証取得、2010年1月に1回目の更新。2010年12月に1年次サーベイランスを受査、結果は「向上」判定。
- ◆ 環境負荷の低減に配慮した環境調和型製品の設計・製造  
当社環境製品指数ファクター実績2.24(年度目標2.18以上)。環境調和型製品の提供 82.4%(年度目標80%以上)。火力発電向け大容量高効率水素間接冷却タービン発電機を開発しCO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減。開発活動が評価され、第37回岩谷直治記念賞と東芝グループ環境賞を受賞。
- ◆ 地球温暖化の防止  
CO<sub>2</sub>排出量実績23,823トン-CO<sub>2</sub>(年度目標23,843トン-CO<sub>2</sub>以下)。
- ◆ 化学物質の排出量の削減  
化学物質排出量実績 5.5トン(年度目標 6.1トン以下)。揮発性有機化合物(VOC)除去装置を新規導入(80%除去)。
- ◆ 資源の有効活用  
排出物総排出量実績 7,181トン(年度目標 7,425トン以下)。

**製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介**

◆ 火力発電機器のエネルギー効率向上、原子力発電機器導入によるCO<sub>2</sub>削減

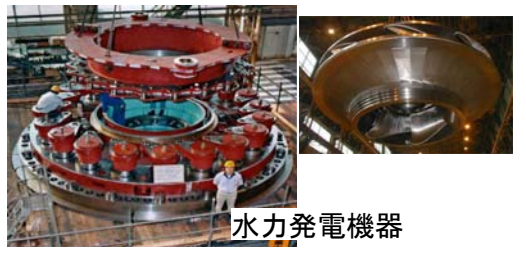


蒸気タービン

タービン発電機

原子力機器

◆ CO<sub>2</sub>を発生させない発電機器の性能向上によるエネルギー供給全体のCO<sub>2</sub>発生量の抑制



水力発電機器

**環境コミュニケーションの紹介**

- ◆ 『東芝の森(伊勢原)』第2回植林体験会開催(1890本植樹)
- ◆ 従業員家族見学会にて環境情報(リーフレット)提供



- ◆ 環境報告書の発行(2000年度より継続)  
[http://www.toshiba.co.jp/env/jp/company/pdf/2010\\_keihin\\_e\\_report\\_j.pdf](http://www.toshiba.co.jp/env/jp/company/pdf/2010_keihin_e_report_j.pdf)
- ◆ 行政主催行事への参画  
・かながわレジ袋削減キャンペーン  
・神奈川県環境インターシップ生受入れ(3名)



- ◆ 通勤路清掃(2回/年)
- ◆ 事業所の敷地の一部を公園として一般に開放



海芝公園

## (株) 東芝 京浜事業所 環境保全基本指針

京浜事業所は、(株) 東芝 電力システム社 環境経営基本方針に基づき、エネルギー機器事業の中核工場として、環境調和型製品の提供および東京湾に面して立地している周辺環境の保全に努め、持続可能な社会へ貢献します。

1. 環境保全への取り組みを、経営の最重要課題の一つとして位置付け、技術的、経済的に可能な範囲で、継続的な改善・向上に全従業員で取り組みます。
2. 生産活動に関する環境側面について、生物多様性の保全を含む環境影響を評価し、環境負荷の低減や汚染の防止に取り組みます。
  - (1) 水質汚濁と大気汚染の防止
  - (2) 化学物質の適正な管理と環境負荷の小さい物質への代替化
  - (3) 廃木材、廃油など廃棄物の3R (Reduce, Reuse, Recycle) の推進
  - (4) 電力、都市ガスの消費抑制を主体とした省エネルギーの推進とCO2排出量の低減
  - (5) グリーン調達による、環境負荷の小さい部品、材料の購入の推進
3. 製品の開発・設計段階で環境影響評価を行い、環境負荷の低減に配慮した環境調和型製品を提供します。
  - (1) 地球温暖化防止、省エネルギー化、省資源化に寄与する高効率で軽量、長寿命な製品の開発
  - (2) 有害物質を含まず再資源化が容易な原材料の採用
4. 環境保全に関する法令等を順守すると共に、自主基準を設定し汚染の防止に取り組みます。
5. 取引先や近隣との協調を図り、積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。

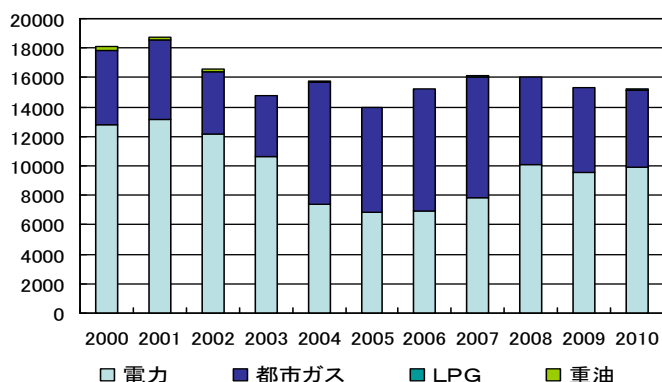
平成 23 年 4 月 1 日

環境保全責任者  
京浜事業所長

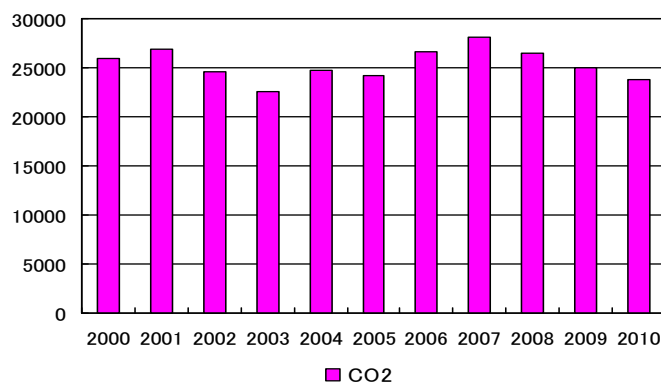
原田 穂之

環境負荷データ

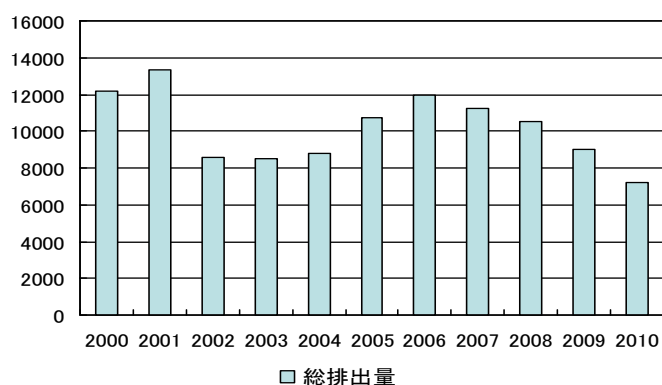
エネルギー使用量(単位:KL)



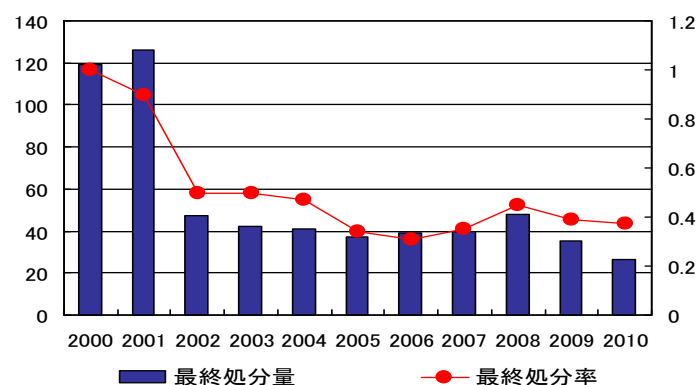
CO<sub>2</sub>排出量(単位:トン-CO<sub>2</sub>)



廃棄物総発生量(単位:トン)

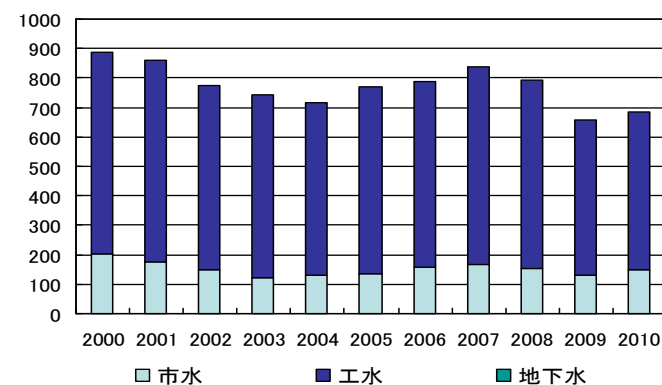


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

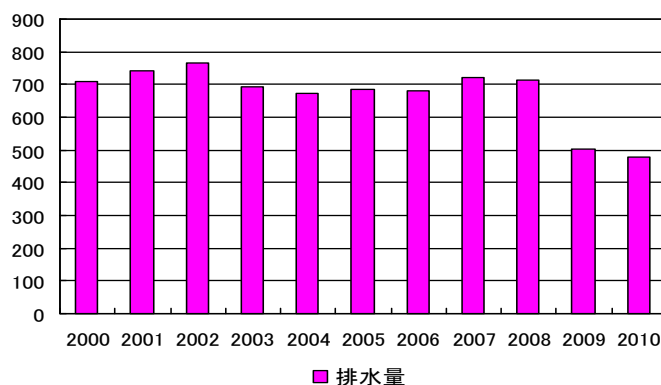


主な廃物名: 金属屑(鉄・銅系・アルミ・ステンレス)、紙、ダンボール、木材、廃油類、廃プラ類等

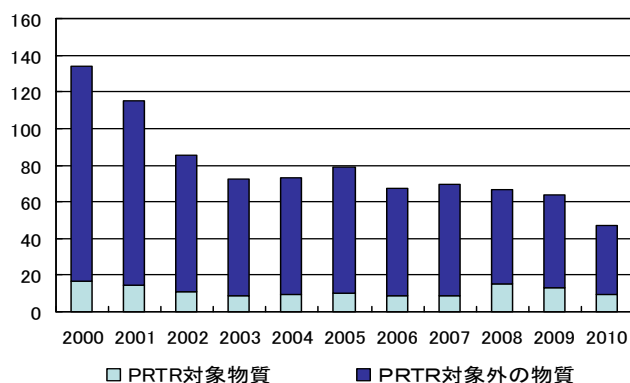
水の使用量(単位:千m<sup>3</sup>)



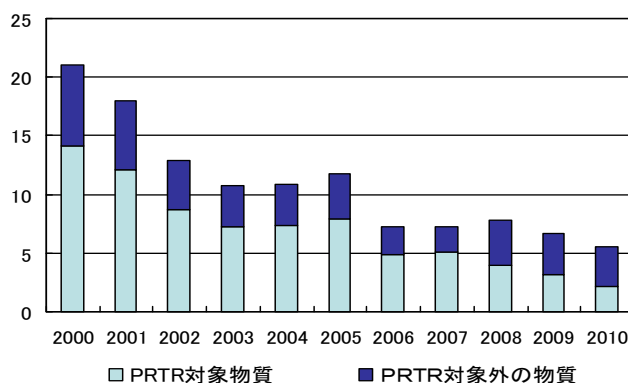
排水量(単位:千m<sup>3</sup>)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質: キシレン、トルエン、メチルイソブチルケトン、アセトン

**遵法管理状況**

<大気測定結果> 65T/Hボイラー(都市ガス使用) 1台

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	65.5 (O <sub>2</sub> 5%)	60 (O <sub>2</sub> 5%)	48	年6回
SOx(Nm <sup>3</sup> /h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm <sup>3</sup> )	0.10	対象外	0.0009	年6回

<大気測定結果> ガスエンジン(都市ガス使用) 1台

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	20 (O <sub>2</sub> 0%)	18 (O <sub>2</sub> 0%)	16	年2回
SOx(Nm <sup>3</sup> /h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm <sup>3</sup> )	0.04	対象外	0.005	年2回

<排水測定結果> 工程系排水(No. 2排水口)、海(東京湾)へ放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	6.5~8.6(協定値)	6.6~8.4	7.8	月1回
BOD(mg/ℓ)	60	26	2.0	月1回
COD(mg/ℓ)	35(協定値)	21	3.0	月1回
SS(mg/ℓ)	40(協定値)	16	1.0	月1回
n-ヘキサン(mg/ℓ)	4(協定値)	2	1.0	月1回
亜鉛(mg/ℓ)	2	1.4	0.06	月1回

<その他測定結果> (下水道法:主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.0~9.0	6.7~8.9	7.8	月1回
BOD(mg/ℓ)	600	281	97	年2回
SS(mg/ℓ)	600	290	160	年2回

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし